

# 第四分科委員会報告

昭和二十二年三月

出席者、桑島南衛士、大塚米太郎、佐藤文治、中畑芳之助、高橋正司、松田祐一、山田文治、  
 松岡弥三郎、矢野武雄、大西凛平、近藤元岩、吉村秀雄、和久右次、伊藤伸太郎、常見寛次郎、  
 市川雀村、佐々木礼次郎、福井伊三雄、角屋利作、市座万吉、中川孫一郎、福島玄、上田、  
 中子、鈴木悦次郎、藤上三、天満芳太郎、楠次七、  
 委員長、桑島南衛士、幹事、矢野武雄、松岡弥三郎、市川雀村、伊藤信太郎、特別委員、  
 大西凛平、市川雀村、楠次七、書記、松岡弥三郎、福井伊三雄、  
 本部報告に対する質問の續行、  
 福島玄

一、長岡、北海道、佐世保、関東新潟等の解体は実体がなくして解体を命じたのか？  
 鈴木悦次郎

二、佐世保が全特に加盟して一年に満たない今日解体を命じた原因は何が？  
 財政省関係

一、會費の納入しなく実体もないことを確めたので之等に対して解体を命じた。  
 市川雀村

一、現在関東に於ては日映、南映、全映が生恆久的な組合意識を持って全口的戦線統一の  
 途を進んで中映の現状に重大な関心を持つてゐるが中映の今後の向題に就いての年次報告  
 は一般に誤解される点があるが、こんな向題に就いて今後如何なる態度を採るか？  
 鈴木悦次郎

一、中映は總評の意向の下に動いて居り全特の方針とは別な方針を持つてゐる。今度の年次報告  
 は、中映の現状を強制的に全特の方針に合わせるものではなく、中映事務局長としては確信を以て、  
 中映は總評の意向の下に動いて居り全特の方針とは別な方針を持つてゐる。今度の年次報告は、  
 中映の現状を強制的に全特の方針に合わせるものではなく、中映事務局長としては確信を以て、